



# 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算補足説明資料

---

2024年 10月31日（木）

ウェーブブロックホールディングス株式会社  
証券コード：7940  
（東証スタンダード市場）

- 2025年3月期第2四半期(中間期)業績報告および今後の見通し
- 株主還元
- APPENDIX

## ■ 売上高 12,871百万円 (前年同期比+9.3%)

- 成長分野である自動車向け販売(デコレーション&ディスプレイ分野)が前年同期比+26.8%と順調に拡大
- 猛暑対策品となる農業向け遮熱・遮光製品の販売が急増
- 上期予想達成率107.3%

## ■ 営業利益 289百万円 (前年同期比△39.3%)

- 自動車向け販売の成長が利益に貢献
- 上期予想達成率144.5%
- 期初原価改定差益の減少により前年同期比ではマイナス

## ■ 中間純利益 403百万円 (前年同期比△5.5%)

- RP東プラの持分法利益および為替差益の計上により上期予想達成率118.7%

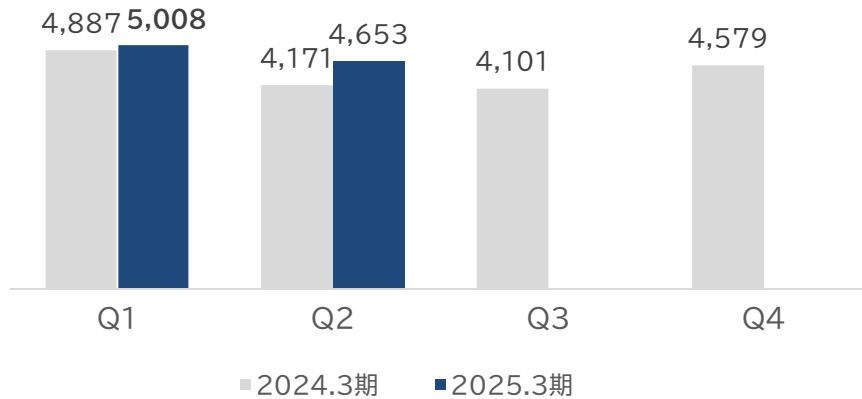
- 売上高、営業利益ともに想定以上に伸長。特に営業利益以下は中間期予想を大幅に超過
- 成長分野であるアドバnstテクノロジー事業の自動車向け販売は計画どおり順調に伸長。マテリアルソリューション事業は農業向け猛暑対策品の遮熱・遮光網の好調が防虫網の苦戦をカバー。製造効率の向上、販管費の削減も営業利益獲得に寄与
- 経常利益以下は、保有する外貨建て資産に対して、為替相場が前期末比で円安に推移したことにより為替差益が増加し、上期予想を超過

(単位:百万円)

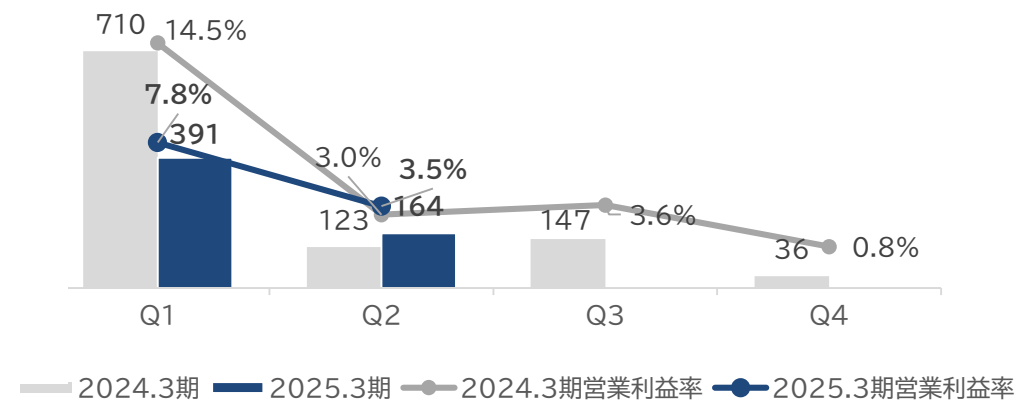
	2024年3月期 中間期 (実績)	2025年3月期 中間期 (実績)	増減率	中間期予想	達成率
売上高	11,774	12,871	+9.3%	12,000	107.3%
マテリアル	9,058	9,661	+6.7%	-	-
アドバnst	2,719	3,226	+18.6%	-	-
営業利益	476	289	△39.3%	200	144.5%
マテリアル	833	556	△33.3%	-	-
アドバnst	△36	49	-	-	-
その他	△320	△316	-	-	-
経常利益	638	604	△5.3%	450	134.2%
中間純利益	427	403	△5.5%	340	118.7%

単位:百万円

売上高



営業利益・営業利益率



## リビングソリューション:

- 需要期のホームセンター向け販売において防虫網は低調だったものの、園芸用品は堅調に推移。サッシメーカー向け防虫網は住宅着工数減少の影響を受け受注減。期初原価改定の影響も受け前年同期比減益

## ビルディングソリューションおよびインダストリアルソリューション:

- 建設・工事向けは価格改定に伴う受注減少や買い控えにより販売数量減少となるも、間仕切り製品や防災向けの防煙垂れ壁の販売好調により前年同期比増収増益

## パッケージングソリューション:

- 顧客との連携強化により販売数量が増加。生産体制の見直しにより生産効率も向上

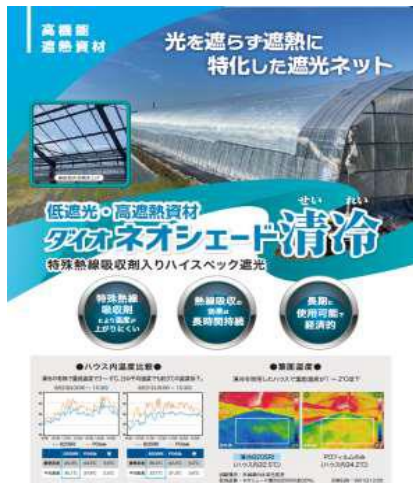
## アグリソリューション:

- 農業資材は猛暑対策向け遮熱・遮光網の需要増に伴い販売急増。防虫ネットや防草シート類も各種キャンペーンの効果により堅調

## その他

- 海外子会社の活用によるホームセンター向け販売が堅調

## 酷暑対策品



### アグリソリューションの新製品 「ダイオネオシェード清冷」

特殊な熱線吸収剤により、従来品よりも遮熱性能と光線透過の両立を実現。耐久性も高く、猛暑での野菜の生育不良や農作業環境改善に効果

売上高は想定越え。酷暑対応のトレンドは今後も続くと見込む

## 防災・減災対策品



### 車両浸水防止カバー 「ウォーターセーフ」

「防災・減災×サステナブル大賞2024」優秀賞を受賞

耐久性・防水性に優れたシートで車両を覆い、豪雨災害時の車両浸水を防止

豪雨対策品として横展開も

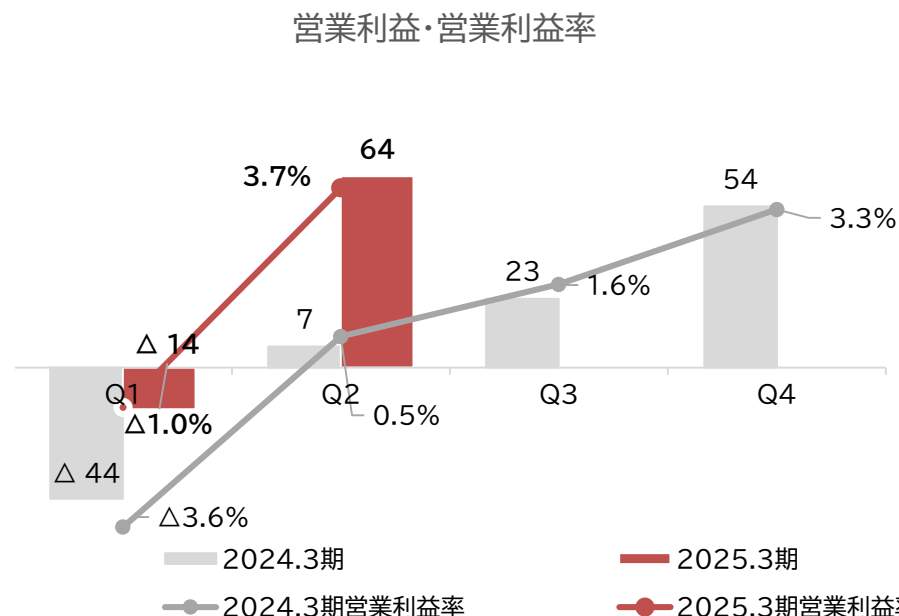
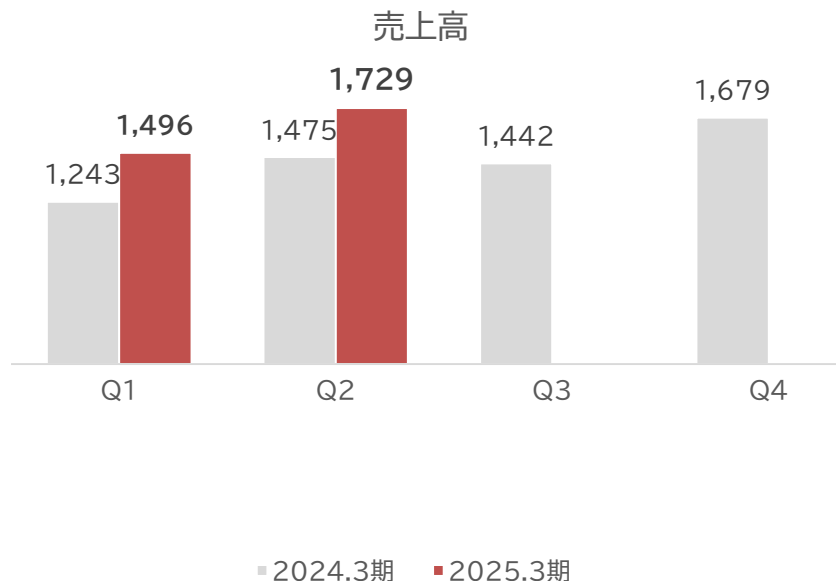


### 災害時にサッと広がる「SAT! 開く防災シート」

2024 JAPAN DIY HOMECENTER SHOWで最高位となる経済産業大臣賞を受賞

行政や事業物件に対してもアプローチし、災害備蓄需要の取り込みを行う

単位:百万円



## デコレーション&ディスプレイ:

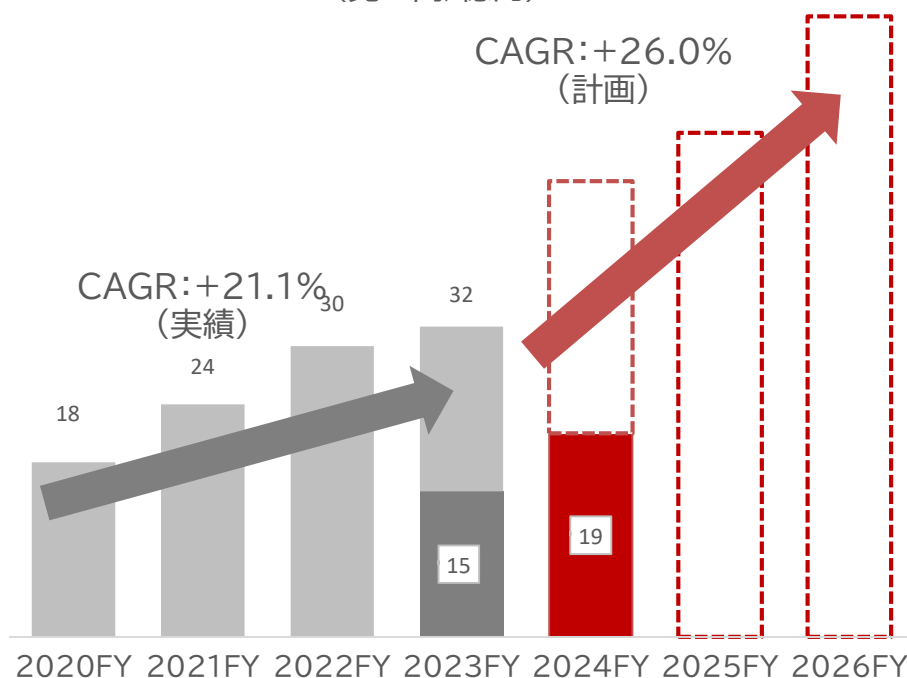
- 金属調加飾フィルムは北米EVメーカーにおける部品不足に伴う生産停止などの影響を受けたものの、フィルム販売、成形加工品販売ともに順調に拡大
- フィルム販売は北米、インド・東南アジア向けが引き続き拡大。前期苦戦した国内向け、中国向けも順調に回復。販売数量増加により生産効率も向上
- 成形加工品販売は急増した受注に対応する安定供給体制の構築および品質向上により収益率改善を図る
- 高透明多層フィルムは採用車種のモデルエンドに向けた生産台数調整などにより販売数量減少。ヘッドアップディスプレイやEV充電器、エンブレムなど新規採用により徐々に回復の見込み
- 事業拡大のための設備投資による減価償却費や、販売拡大に伴う人件費、新たな主軸製品を目指す塗装代替フィルムの開発費なども吸収し、期末に向け売上高・営業利益の積み上げを見込む

## その他:

- テレビモニター用導光板の販売増加も、仕入販売のため利益への影響は些少

- デコレーション&ディスプレイ分野の売上高は金属調加飾フィルムを中心に拡大。第2四半期(中間期)売上高は前年同期15億円に対し19億円と26.8%アップ
- 金属調加飾フィルムの地域別売上高は前年同期比で中国向けが4.5倍、北米向けが1.5倍と成長を牽引。インド・東南アジア向けも1.2倍と着実に拡大
- 今後においても海外を中心に複数の新規案件が控えており、中長期的にも順調に成長の見込み

デコレーション&ディスプレイ分野の成長  
(売上高/億円)



新規採用事例

- 北米
  - EVメーカー向けエンブレム  
メッキ代替品としてCO2排出量削減が評価され、複数車種、複数パーツ向けに採用。成形加工し販売
  - 大手自動車メーカー向け光透過エンブレム  
複数車種、複数パーツ向けに採用。成形加工し販売
- 中国
  - 大手EVメーカー向け光透過エンブレム  
複数パーツ向けに採用
- インド
  - 大手自動車メーカー向けエンブレム  
メッキ代替品としてCO2排出量削減が評価され採用が拡大
- 欧州
  - 大手自動車メーカー向けフロントパネル  
光透過性、電波透過性が評価されEV車向けフロントパネルに採用予定



■ 上期の堅調トレンドが継続すると予想するものの、市場環境を勘案し通期業績予想は据え置く

## 今後のプラス要因

- 高騰していた原材料価格、ユーティリティコストに対応する売価転嫁許容度の高まり
- 原材料価格に影響するナフサ価格は第2四半期をピークに下落傾向

## 今後のマイナス要因

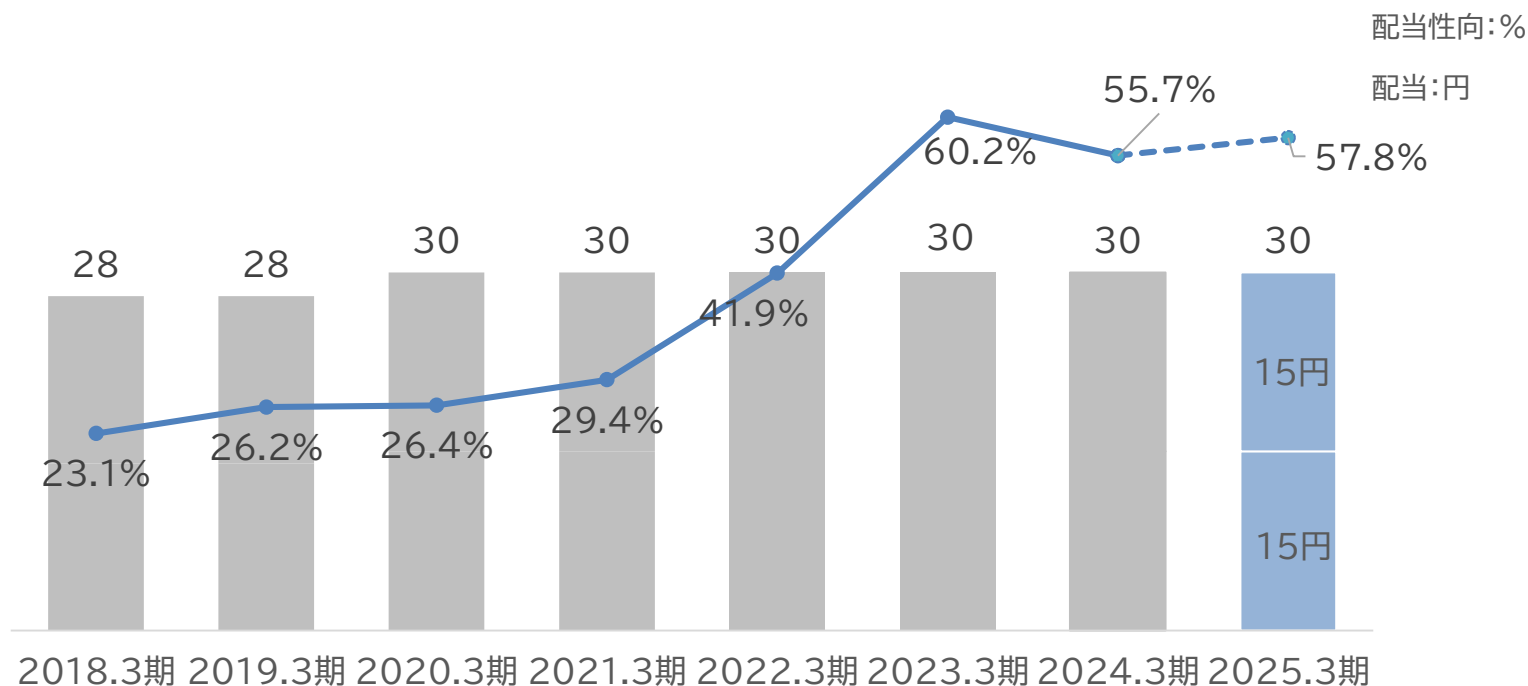
- ナフサ価格に連動しない一部の原材料に対する価格上昇圧力
- EV車需要の不透明感
- 為替相場の乱高下による原材料や販売価格への影響

(単位:百万円)

	2025年3月期 中間期 (実績)	通期予想	進捗率
売上高	12,871	25,500	50.5%
マテリアル	9,661	19,000	50.9%
アドバンスト	3,226	6,500	49.6%
営業利益	289	420	68.8%
マテリアル	556	950	58.5%
アドバンスト	49	150	32.9%
その他	△316	△680	-
経常利益	604	660	91.5%
当期純利益	403	440	91.7%

## ■ 基本方針

配当性向35%以上を目安に、単年度の業績ボラティリティに左右されない  
安定的な配当を維持



※ 2020年3月期までの配当性向は負ののれん償却額の影響を考慮した配当性向(負ののれんは2020年3月期に償却が終了)

※ 2021年3月期および2023年3月期の配当性向はクリアネイト(株)(旧(株)ウェーブロックインテリア)株式譲渡による影響を除いて算出

# APPENDIX

(単位:百万円)

	2025年 3月期 中間期	前期末比		2025年 3月期 中間期	前期末比
資産合計	29,367	+907	負債・純資産合計	29,367	+907
流動資産	18,186	+342	負債	12,899	+551
現預金	3,747	+1,166	営業負債	3,189	+407
営業債権	5,712	△ 806	有利子負債	5,213	△ 83
棚卸資産	7,927	△ 264	その他	4,496	+226
その他	799	+247			
固定資産	11,180	+565	純資産	16,468	+356
固定資産	9,169	+467	株主資本	16,090	+283
その他	2,010	+97	その他の 包括利益他	377	+73

- 中間純利益 +403
- 中間配当額 △127

## ■ 現金及び現金同等物 3,747百万円

(単位：百万円)

2025年3月期中間期	
税金等調整前中間期純利益	603
減価償却費	350
運転資本増減	1,574
持分法による投資損益(△は益)	△ 108
その他	△ 292
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>2,127</b>
固定資産の収支	△ 687
その他	0
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 686</b>
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>1,440</b>
借入金の収支	△ 83
配当金の支払	△ 126
その他	△ 10
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 220</b>

本資料における見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。  
本資料に記載されている内容・写真・図表等の無断転載を禁止します。